

会議名：臨床医学委員会・総合工学委員会合同放射線・放射能の利用に伴う課題
検討分科会（第26期・第1回）議事要旨

日時：令和6年7月26日（金） 13:00 – 15:00

会議開催形式：オンライン会議（Zoom 利用）

参加者（敬称略・順不同）：神田玲子、櫻井博儀、青木茂樹、井上優介、大倉典子、岡沢秀彦、神谷研二、佐治英郎、多胡正夫、中野隆史、西尾禎治、赤羽恵一

議題等：

- 1) 役員の選出
- 2) 第26期の活動について
- 3) その他

議事録：

- 1) 自己紹介：本分科会の会員及び連携会員より自己紹介があった。
- 2) 中野委員長、櫻井副委員長、唐澤幹事、西尾幹事が選出された。西尾が当日の議事録作成役として任命された。
- 3) 中野委員長より、第26期の活動についての説明があった。資料ファイル名「粒子線治療産学共同研究の国際競争力強化検討小委員会の設置について」に基づき説明がなされ、「粒子線治療産学共同研究の国際競争力強化検討小委員会」の設置が提案された。

本小委員会では、粒子線がん治療研究、及びその社会実装の国際的な競争力増強支援に関する審議を俯瞰的かつ分野横断的に行うと説明された。

物理工学分野と放射線診療分野両方の連携が重要であり、臨床医学委員会と総合工学委員会合同放射線・放射能の利用に伴う課題検討分科会の下に、本小委員会を設置する。本設置により、様々な学会関係者や装置開発の産業界関係者との産官学協働研究開発体制を構築し、本分科会に必要な情報や資料を提供する。

中野委員長より、本小委員会では、

1. 粒子線治療機器開発と臨床応用研究のための国内研究体制
2. 粒子線治療機器の国際的普及促進のための国内体制
3. 粒子線治療や関連技術の高度化のための研究の推進
4. その他、宇宙医学や量子生命医学など粒子線医学に関連する先端研究分野の研究推進

が審議事項として説明された。

中野委員長より、本小委員会の委員候補の説明があった（会員：2名、連携会員：5名、会員・連携会員以外の者：11名の計18名）。櫻井副委員長より、粒子線治療装置開発企業からの本小委員会委員への参画は、限定された企業のみからではない方が良いとの意見があった。例えば、日本加速器学会などへ、本小委員会委員を推薦で出してもらおうと良いのではといった意見があった。大倉委員より、ダイバーシティの観点で、女性委員の割合を3割基準とすべきとの意見があった。

本小委員会の設置について、本分科会で設置承認を得た。

- 4) 神田委員より、委員会委員間のメールアドレスの共有についての説明があった。
- 5) 神田委員より、議事要旨の提出に関する委員長一任についての説明があった。